



2026年5月8日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 コ ロ ワ イ ド
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 野 尻 公 平
(コード番号 7616 東証プライム市場)
問 合 せ 先 経 営 企 画 本 部 長 石 川 晃 久
(T E L 0 4 5 - 2 7 4 - 5 9 7 0)

**連結子会社における「特別損失の計上、法人税等調整額（損）の計上
及び通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」について**

当社の連結子会社である株式会社アトム（本社所在地：横浜市、代表者：代表取締役社長 植田 剛史）におきまして、添付資料のとおり「特別損失の計上、法人税等調整額（損）の計上及び通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」を本日発表致しましたので、お知らせ致します。

尚、株式会社アトムの業績予想の修正が当社業績に与える影響につきましては、本日開示致しました「2026年3月期 決算短信〔IFRS〕（連結）」に反映しております。

以 上



2026年5月8日

各位

会社名 株式会社 アトム
代表者名 代表取締役社長 植田 剛史
(コード番号 7412 東証スタンダード、名証メイン)
問合せ先 取締役管理本部長 佐藤 真一郎
(連絡先電話番号 045-224-7390)

特別損失の計上、法人税等調整額(損)の計上 及び通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2026年3月期第4四半期会計期間において、特別損失及び法人税等調整額(損)を計上致しましたので、下記のとおりお知らせ致します。また、2026年2月10日に公表致しました2026年3月期の通期業績予想と、本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせ致します。

記

1. 特別損失の計上について

2027年3月期以降の抜本的な収益改善に向け、当会計年度末に53店舗において減損損失を6億71百万円(累計金額6億77百万円)計上致しました。

今後、レストラン事業における経営資源の集中による業績改善を一層強化し、業績回復を図る計画であります。将来的に回収可能性にリスクが認められる固定資産については、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の回収可能性を検討した結果、当会計年度において減損処理を実施することと致しました。

2. 法人税等調整額(損)の計上について

2026年3月期の業績及び今後の見通しを踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産の一部を取崩すこととし、当会計年度末に577百万円(累計期間608百万円)を法人税等調整額(損)として計上致しました。

3. 通期業績予想と実績値との差異について

(1) 2026年3月期通期業績予想と実績値との差異(2025年4月1日~2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	30,090	△367	△429	△1,209	△6.32
実績値(B)	30,408	25	△22	△1,507	△7.86
増減額(B-A)	317	392	406	△297	△1.54
増減率(%)	1.1	—	—	—	
(参考) 前期実績 (2025年3月期)	35,477	△670	△643	530	2.58

(2) 差異の理由

2026年3月期通期の実績値が前回予想と差異が生じた主な理由は、まず売上高につきまして、季節に応じたフェアの実施や地域特性に応じたメニュー構成の見直しに加え、TV放映を契機とした認知拡大施策を継続的に実施したことにより、来店動機の創出及び話題性の向上が図られた結果、前回予想を上回ったことによるものであります。

次に営業利益及び経常利益については、上記の売上高増加に加え、人件費の適正化等による販売費及び一般管理費の低減効果が寄与し、前回予想を上回る結果となりました。

一方、当期純利益につきましては、業績及び今後の見通しを踏まえ、繰延税金資産の一部を取崩し、法人税等調整額（損）として当会計年度に577百万円（累計期間608百万円）を計上したことにより、前回予想を下回る結果となりました。

以 上